

# おかい

## 杉並区議会だより

NO.216

平成25(2013)年1月1日発行

開かれた議会を  
めざしています  
**区議会を  
傍聴しましょう**

発行/杉並区議会 編集/区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 FAX 5307-0695  
☎ 3312-2111 <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>  
携帯サイト <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>

江戸消防記念会による木遣り(きやり)。木遣りは作業唄として、複数人で仕事をする時、力を一つにまとめるための掛け声、合図として唄われたもの。

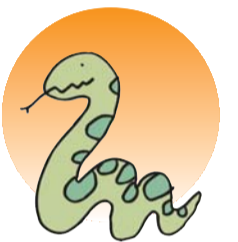


# 迎春

2013年

今年もよろしく  
お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



## 新年のごあいさつ



杉並区議会議長

井口かづ子

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成25年の年頭にあたり、杉並区議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

昨年末には衆議院議員選挙があり、国においては新たな内閣が発足いたしました。東日本大震災からの復興、社会保障制度の改革、近隣諸国との領土問題など国が直面する様々な課題に力強く取り組み、解決に導くことを期待しております。

その一方で、昨年の日本経済は、東日本大震災、ヨーロッパ諸国の信用不安などの影響を受け、極めて不透明で厳しい状況にありました。また、国民生活においても、デフレや失業率の高止まりによる経済不安など、様々な面で厳しさを増した一年でした。

こうした中で、杉並区では、「支えあい共につくる安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」を10

年後の杉並区の将来像として掲げる「杉並区基本構想(10年ビジョン)」を策定いたしました。また、昨年は、杉並区制施行80周年を迎える節目の年でもありました。

過去から脈々と受け継がれてきた杉並の歴史、文化、自然、地域の絆を絶やすことなく、災害に強い、安全で安心して暮らせるまちづくりを区民の皆様とともに進めることが大切であると考えております。また、新たな基本構想に基づく杉並区総合計画を着実に推進し、未来に続く新しい杉並がより魅力あるまちとなるよう努めてまいります。

地方分権の推進により、地方議会の果たすべき役割はますます増してきております。杉並区議会としても、議会活動の活発化・効率化を図るため、今までの議会運営の慣例や申し合わせ事項の見直しに着手しております。また、より区民の皆様身近な議会となるよう本会議のインターネット生中継を実施いたしました。今後も、政務活動費の透明化の推進など議会改革の推進に取り組んでまいります。

区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 第4回定例会

### 補正予算を含む27議案を可決

第4回定例会は、11月19日に開会し12月7日までの19日間の会期で開催されました。その模様をお知らせします。

初日は、区政一般について質問が行われ、22日までの4日間にわたり21名の議員が質問しました。22日は一般質問の後、区長から提案された条例案、予算案など議案15件及び議員提出議案1件が上程され、提案説明の後、関係する委員会に付託しました。また、委員会付託を省略した区長提出議案「人権擁護委員候補者の推薦について」1件は原案どおり可決し、専決処分報告2件については聴取し承認しました。同じく委員会付託を省略した区長提出議案「教育委員会委員の任命の同意について」2件は、提案説明・質疑の後、原案どおり同意しました。

25日から12月6日にかけては、各常任・特別委員会を開き、条例案の審査などを行いました。11月28日の都市環境委員会終了後の本会議では、区長提出議案4件及び議員提出議案4件が上程され、提案説明の後、関係する委員会に付託しました。そのほか、付託された議員提出議案1件の審査経過が議会運営委員会委員長から報告され、原案どおり可決しました。

最終日の12月7日には、付託された議案の審査経過が総務財政委員会委員長、保健福祉委員会委員長、都市環境委員会委員長、文教委員会委員長及び議会運営委員会委員長から報告され、区長提出議案19件及び議員提出議案4件は原案どおり可決しました。そして、請願の審査結果が保健福祉委員会委員長から報告され、委員長の報告のとおり決定し、第4回定例会を閉会しました。(審議の結果は8面に掲載)

## 議会改革に取り組んでいきます！

杉並区議会では議会の役割と責任を一層果たすため、情報公開、住民参加、政策能力の向上などを目指して、議会改革に取り組んでいます。

これまで23区に先駆けて費用弁償の廃止、政務調査費の見直しなどを行い、また、区民の皆様により分かりやすく議会の様子伝えるため、区議会だよりの拡充やインターネット中継の導入、ホームページの充実などを行ってきました。

平成23年3月には、本議会で「議会改革の推進に関する決議」を全員賛成で可決し、同年5月に議会改革特別委員会を設置して、議会基本条例などを中心に検討を行ってきました。

今年度は、区民の皆様の声を一層議会改革に生かしていくため、昨年9月から「杉並区議会に関する意識調査」にも取り組んでおり、今後、議会改革の参考にしてまいります。

これからも区民の皆様の声を聴きながら、議会改革を進めてまいりますので、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年第1回定例会は

2月14日から開会の予定です。

## インターネット中継！

本会議の様子を区議会ホームページでライブ(生)中継、録画中継します。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>

# 年頭のびあいやつ

## 杉並区議会 自由民主党

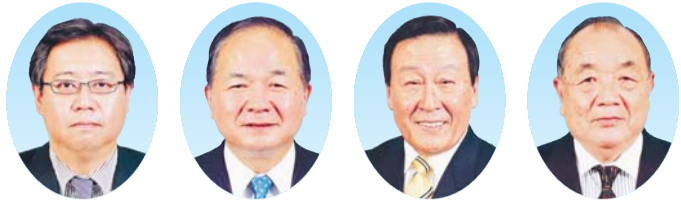
あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えの事と存じます。さて、私たち「杉並区議会自由民主党」は昨年4月に自由民主党所属議員12名が大同団結、現在は区議会第一会派として、議長選出会派として、安易なポピュリズムとは一線を画しながら、強い責任感と確かな前進をモットーに区民福祉の向上と区政の進展のため、活動しております。

さて、暮れの選挙を経て、日本の政治は新しい局面を迎えました。そうした中、政治に期待する声として、閉塞感の打破とともに「幸せ」、「安心」、「豊かさ」などが真に実感できる社会づくりが求められています。

ていると私たちは感じています。ゆえに、私たちは皆様に最も身近な立場の議員として、この「実感」を皆様が感じる事が出来る区政の実現に向け、地域に溶け込み、膝を交え、語り合い、今年も地道に、一つ一つの課題の解決に向け、活動してまいります。

また、一昨年の大震災以降「絆」の大切さが再認識されました。しかし、声高に「絆」を叫ぶだけで、それは構築出来る状況に社会はありません。そこに今、必要なエッセンスは政治の、特に議員の発想力と探求心、実行力が大切と私たちは考え、会派内に政策部会を設け、日々議論を重ね、行政に積極的な政策提案を繰り広げております。

そして、本年、私たちが重点として、実現を求めていく施策は次のとおりです。  
 ・健全な財政の維持と弛まぬ行政改革  
 ・区民要望の最も高い保育施設の充実  
 ・ずっと杉並で暮らせるための高齢者介護基盤整備  
 ・商店会振興をはじめとする区内経済の活性化  
 ・ソフトとハードを組み合わせた新しい街づくり  
 ・現存する貴重木や屋敷林等のみどりの保全対策  
 ・行き過ぎた個人主義を是正し、社会性を重視した教育  
 ・より区民に身近な存在に、議会改革の推進  
 本年も杉並区議会自由民主党にご期待とご激励を賜ればと存じます。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



富本 卓 (幹事長)



大泉 時男



斉藤 常男



小泉 やすお



脇坂 たつや



吉田 あい



大熊 昌巳 (副幹事長)



井口 かづ子



大和田 伸



田中ゆうたろう



今井 ひろし



浅井 くにお

## 民主・市民クラブ

新年あけましておめでとうございます。区民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。とともに、日頃より私どもの会派にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から間もなく2年がたとうとしております。被災地では、一刻も早い復興に向け、関係機関及び関係者が手を携え、懸命なご努力をされていることに心から敬意を表します。そうしたなか、昨夏のロンドン五輪における日本人選手の活躍は、被災地に大きな勇気と感動を与えたものと受け止めております。昨年、杉並区では区制施行80周年にあたり、吉田沙保里選手を招き行われた記念パレードには、多くの区民が会場を訪れて、その偉業をお祝いしました。

さて、昨年は、本区の今後10年間の指針となる基本構想が策定された年でありました。本年は、その2年目にあたり、基本構想を具体化するための総合計画、実行計画についてそれらに要する財源を行政改革等で確保した上で、着実に実行することが求められております。経済の先行きが不透明ななか、厳しい区政運営を強いられませんが、私ども会派は、介護の充実、保育待機児童の解消等、喫緊の課題に精力的に取り組みつづ、基本構想に掲げた目標を達成し、区民福祉を向上させるため、弛まぬ努力を続けてまいります。本年も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



増田 裕一



安斉 あきら



小川 宗次郎 (幹事長)



河津 利恵子 (副幹事長)



市来 とも子



山本 あけみ



山下 かずあき

## 杉並同志会

新年あけましておめでとうございます。昨年は、政治・経済が混とんと目を覆うような事件が発生し、近隣諸国から脅されるなど、不安定な年でありました。杉並区は、住みやすい住宅都市ですが、国の政治がしつかりしなければ杉並区も良くなりません。お子様から高齢の方、すべての方々が心身共に健康であり、経済的にも豊かで安心安全な生活を送ることが出来るよう、皆様のお声を聞きながら活動してまいります。本年もよろしくお願ひ致します。

あけましておめでとうございます。我が会派は、議会人として、政策と議決責任を重んじる、という想いを同じくし、昨年5月に結成した会派です。区政経営の要諦は、将来世代に対して現役世代のツケを回すことなく、不断の行政改革に取組み、規律ある財政運営を行うことと考えております。本年も、ブレない信念のもと、被災地・被災者への継続的な支援を含め、未来への責任をしっかりと果たしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



松浦 芳子



佐々木 浩 (幹事長)



藤本 なおや



岩田 いくま (幹事長)

## みんなの党杉並

新年あけましておめでとうございます。みんなの党は、しがらみのない立場から、議員定数削減、公務員総人件費削減等の行財政改革をぶれずに進めていきます。さらに、重要課題の中でも、電力の自由化による脱原発、

障がい者の親亡き後の支援等誰もが安心して暮らせる街づくりに特に力を尽くします。



横田 政直



◆年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします◆



## 杉並区議会

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より杉並区議会公明党への温かいご支援とご厚情を賜り、深く感謝申し上げますとともに、本年が素晴らしい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、杉並区は昨年、「杉並基本構想」、「総合計画」を基に新たな一〇年へ向けてスタートしました。我が会派は、区の目指す将来像である「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市

杉並」の実現のため、現場に行き地域の課題を一つひとつ確認し、そこで頂いた区民の皆様の声を直接お届けするとの思いで、政策提案などの議会活動に全力で取り組んでまいりました。

杉並区では、このたび区として初めての「がん対策推進計画」の策定が進められています。これは、私たち区議会

公明党の「いのちプロジェクト」の一つの柱として位置づけている「がん対策」が大きく前進するものであり、皆様に喜んでいただけることと思っております。また、防災・減災対策の強化、子どもや高齢者の命と健康を守る施策の充実等の重点課題においても、今年も公明党らしさである「現場第一主義」の政治を区政に反映させ推進していくことをお約束申し上げます。

私たち公明党は、今と未来に責任を持ち、立党以来掲げている「大衆とともに」の精神のまま、「日本の再建は地方から」の気概で今年も全力で取り組んでまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



大槻 城一 (副幹事長)

渡辺 富士雄 (幹事長)

島田 敏光

横山 えみ

山本 ひろこ

中村 康弘

北 明範

川原口 宏之

## 日本共産党 杉並区議団

区民のみなさん、新年明けましておめでとうございます。昨年は解散総選挙、都知事

選のダブル選挙という慌ただしい年末となりました。政策よりも数合わせ、政党の看板を付け替えるばかりの政治の在り方に、多くの方が冷やかな眼差しを寄せたのではないのでしょうか。暮らしが大変な時に何をしているのかと。今政治に必要なことは国民

生活の実態を直視することです。例えば負担増の問題。高齢者から年金1カ月半分にもなる税や保険料の徴収を行い、現役世代では収入の4分の1に達するほどの負担を強いられています。それでもまだ足りないといふ2年後の消費税増税等が続くのです。それでも保育園不足や介護地獄が解消されないのはなぜでしょうか。

その上、杉並区は「乾いた雑巾をしぼるような」福祉サービス削減を計画しています。杉並区は550億円の基金積立て

## 生活者ネット・みどりの未来

政権交代後初となった、昨年暮れの総選挙。国政は混んとした状態にあります。国政の形がどうであれ、「3・11」後の日本は、議会や行政への「お任せ民主主義」では自分たちの生活が守れないと多くの人が発言を始めています。新年にあたり私たち5人も、議員として、かつ市民の一員として区政に取り組む気持ちを新たにしています。

方針を出したばかり。保育も介護も十分に解決できる規模の財源がありながら、基金の積立てが優先され、福祉が後回しにされては本末転倒です。本当に足りないのは税金ではなく、政治の能力ではないのでしょうか。

財源も示し、区民要求を政治に実現する。今年も党杉並区議団は、区民の負託に応える活発な議会活動をお約束し、新年のご挨拶といたします。



原田 あきら (幹事長)

くすやま 美紀

鈴木 信男

山田 耕平 (副幹事長)

富田 たく

金子けんたろう

境、福祉、人権、議会改革、脱原発です。かねて求めてきたPPS（東電などではない新しい電力会社）の区への導入が昨年、実現しました。今年も脱原発をめざし省エネと再生可能エネルギーの創出を促進していきたいと思えます。またいつ起きるかかわらない首都直下地震に備え、一人でも多くの人が生き延びられるよう、最悪の想定下の防災計画策定と住民主体の避難所体験の実施を求めています。

私たちの社会を守る大切な制度である生活保護に対し、弱者に寄り添った支援と自立への提案を続けていきます。そして議会基本条例の制定を視野に、さらなる議会改革に向け進めています。区民に開かれた議会へと私たちは力を尽くしてまいります。



奥山 たえこ (副幹事長)

小松 久子 (幹事長)

そね 文子

すぐろ 奈緒

市橋 綾子

## 無所属区民派

厳寒の福島に思いをはせ、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、生活保護や保育、介護の相談で区内を駆け巡り、「困ったときに一人にしません」のお約束を果たしました。

今年も、反原発自治体議員市民連盟の仲間とともに、再稼働を止め、杉並から原発に頼らない社会を準備します。待機児童ゼロにむけた認可保育園、特養ホーム、災害に強い

まちづくりは待ったなし。無所属区民派は、皆さんの切実な要求に応え、政党の違いを超えて手を結び、実現します。



新城 せつこ

けしば 誠一 (幹事長)

## 無所属

杉並区が、会計上必要であった「債務負担行為の設定」を一部怠っていた事実（地方自治法違反）については、おかげさまで課題の解決が始まりました。昨年12月成立の第5号補正より対応がスタートしています。残された課題についても、引き続き全力で解決に当たる所存です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



堀部 やすし

## 共に生きる杉並

この世に生を受けた私たち一人一人のいのち、いのちの重さはみな同じ。あなたも私もみな同じ。お互いに違いがあっても、いのちの重さは同じです。

この世に生を受けた、かけがえない私たち一人一人のいのちが輝く、共に生きる世の中を、杉並から広げていきましょう。



木梨 もりよし

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状等は禁止されています。

# 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
11月19日、20日、21日、22日に21名が質問しました。  
その一部要旨をお知らせします。

まちづくりのハードとソフト、所管を超えた対応を望む



大熊昌巳 (自民)

**問** 久我山のまちづくりを例にあげ、ハードとソフトの両面から一体的にまちづくりを進めることが、地域経済や地域活性化には重要と考えるが。

**答** 活性化に頑張っている各地域を支援するため、横断的な区の組織体制を整えるよう検討。

**問** 高井戸公園の整備に当たり、区グランドデザインに描かれている中央高速高井戸オンランプ、補助第216号線の整備の考えは。デザインにある小中一貫教育、東西に通る区道は、地域の声を大切に取扱うよう要望する。



**問** オンランプの整備は、国や都に対して区民の意見を聴きつつ対応するよう働きかけ、補助第216号線も地元の見解を聴きながら検討する。

**問** 認可保育所と認可外保育施設の保育料補助制度の見直しは。取りまとめた見直し案については、幅広い区民意見を把握し、慎重かつ丁寧に取り組み。生活保護について、政府の生活支援戦略と就労支援を問う。

既存の枠組みをのりこえ、福祉分野での自治体間連携推進を



岩田いくま (自民)

**問** 平成19年に提案した「友好都市への杉並区民専用の特別養護老人ホームの整備」が、区と南伊豆町との検討を踏まえ、「高齢者の域外居住による自治体間連携」として国の研究事業になった。①これまでの検討の推移を問う。②今後の取組みを問う。

**答** ①介護保険制度において想定されていないものであったが、国や静岡県、南伊豆町と協議を進めるなかで法律上禁止されていないことが明らかになり、都市部と地方の相互利益につながるものとして意義が認められた。

**問** ②国の研究事業も踏まえ、制度的な枠組みの検討を進めるとともに、具体的な施設運営に即した課題を整理していく。



**問** 都による都市計画高井戸公園の整備計画は、区が示したグランドデザインとの整合性が図られているか。

**答** 区が示した「スポーツ・レクリエーション公園」を踏まえた計画だと考えている。

**問** 平成20年に電力入札について提案した。現在までの実施状況を問う。

**答** 平成24年5月に小中学校の電気供給について実施した。

虐待・いじめ・自殺には連鎖関係がある、横断的な連携を望む



山下かずあき (民社)

**問** 虐待被害によるストレスの発散先が、いじめ加害児童・生徒を生じる連鎖関係があると考えられるが、対応は。

**答** 状況に応じて養護教諭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも組織的に対応する。また、子ども家庭支援センターや児童相談所などの関係機関とも連携する。

**問** いじめのエスカレート化が被害児童・生徒の自殺へと連鎖すると考えられる。いじめを受けた児童・生徒の自殺予防策は。命に関わる危険性のある子どもが発するサインを注意深く観察していく。

**問** 子どもの「虐待」「いじめ」「自殺」の対応には市内の横断的な連携が必要。問題解決に専門部署を設けるべきと思うが。

**答** 市内の関係各部署の専門性を一層高めるとともに、組織横断的な連携強化に努める。

**問** スポーツ祭 東京2013 (東京国体) を来年に控え、大会を盛り上げる序段として、プロ大会の開催が重要と考えるが。

**答** 東京国体開催前のある一定期間、ラジオ体操を身近な所で取り組める活動を今後検討する。



放射第5号線と都市計画高井戸公園と低炭素のまちづくり



山本あけみ (民社)

**問** 放射第5号線住宅街へ通過交通の流入が心配されている。重量規制や看板の設置等の防止策は万全か。住民への周知はどうか。

**答** 都は、接続部を切り下げ構造に、歩道部の仕上げを連続にするなどの防止策を行い、今後整備内容を地元で説明する予定。

**問** 高井戸公園という名称で、住所は久我山、最寄り駅は富士見ヶ丘駅。名称から受ける場所の印象と実際が異なるが。

**答** 公園の性格や立地などをイメージできる公園名称の検討を都に要望する。



**問** 放5周辺の地区計画の策定スケジュール、住民への周知、意見聴取方法、景観条例との関係を問う。

**答** 平成25年度に地区計画の決定ができるよう取り組む。ニュースの発行や説明会の開催などで広くご意見を聴取する。景観計画の基準と整合性を図り、景観に配慮したまちづくりをする。

**問** 久我山の地区計画策定で、今後重要となる省エネルギー・低炭素のまちづくりを目標に加えるべきと考えるが。

**答** 新しい取組みであり、重要な観点の一つになると認識。



「即時原発ゼロ」推進都市のながれ杉並から求める



鈴木信男 (共産)

**問** 原発ゼロの日本を願う国民の運動が大きく広がっている。野田内閣は国民の願いに全く反する姿勢である。

**答** 共産党は「即時原発ゼロ」の実現を求め提言を発表。総理にも要請した。なぜ「即時ゼロ」が必要か。理由の第一に、事故から1年8カ月、収束どころか被害は拡大。第二に、電力は再稼働しなくても猛暑を乗り越えられた。第三に、原発ゼロで電料金が2倍に上がる根拠はない。

**問** 新電力事業者(PPS)の電力供給力に応じて検討する。

**問** 第四に、再生可能エネルギーの導入可能量は原発54基の約40倍である。国民は政府の行った意見公募では80%が、即時ゼロを求め原発への依存を拒否している。大規模な普及が望まれる。第五に、原発の稼働で使用する核燃料・核のゴミが生じるが解決策はない、などが即時ゼロの理由である。区の政策において「即時原発ゼロ」「再生可能エネルギー推進都市」を求める。

**答** 原発の是非は国レベルの問題で、区のエネルギー政策の中で議論する考えはない。

**問** 新たなバリアフリー基本構想により、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す。

**答** 上井草駅周辺のまちづくりでは、踏切待ち解消と駅ホーム間の連絡橋設置、南方向へのバス移動の不便解消を。

**答** 西武線連続立体交差事業は他区と連携し努力する。バス、連絡橋は、関係機関へ要請する。

人を、そして緑を大切に  
するまちづくりを



浅井くにお (自民)

**問** 私が保全を目指す屋敷林の現状は。80周年記念事業の保全樹林の選定状況は。相続税増税など、保全は更に困難となる。

**答** 過去5年間、屋敷林は減少傾向。記念事業は選考中。今後は、記念事業等を踏まえ、屋敷林等の保全計画策定に取り組む。



**問** バリアフリー新法への区への対応の鈍さは問題。ユニバーサルデザインのまちづくりが今、求められている。

**答** 新たなバリアフリー基本構想により、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す。

**問** 上井草駅周辺のまちづくりでは、踏切待ち解消と駅ホーム間の連絡橋設置、南方向へのバス移動の不便解消を。

**答** 西武線連続立体交差事業は他区と連携し努力する。バス、連絡橋は、関係機関へ要請する。



脱原発再生可能エネルギー拡大を、和申民間人校長は廃止



けしば誠一 (無区)

政府の「革新的エネルギー・環境戦略」は省エネと再生可能エネルギーの大胆な拡大を求めている。具体的取組みを示せ。

杉並らしい地域エネルギービジョンの検討を進めている。

市民オンブズの活動により、議員の政務調査費の厳しいチェックがなされ、議会側の対応も改革されつつある。区の認識は。

議会の中で自主的な見直しを認め、透明性が向上と認識。

放射線5号線とともに岩崎橋の車道が拡幅され、車が流入する恐れはないのか。玉川上水を守るため、文化庁との協議は。

車道の幅員を現時点で広げる考えはない。文化庁とは史跡「玉川上水」への影響等を協議。

和申の民間人校長は3月で任期が切れるが、区の総括は都への申請はしているのか。

民間での経験を学校経営に生かし学校全体の活力を高める当初の目的を果たした。当該校長は来年3月までとなっている。



首長と教育委員会との関係はどうあるべきか、区長見解は。

公正中立が大切。私はより豊かな教育が行われるよう、教育環境の整備に力を尽くしたい。

フリースクール等多様な学びの場、要配慮の子どもに支援を



小松久子 (ネみ)

家庭的養護は都の制度であるが、身近な自治体である区は、里親家庭の実態・実情を把握し、必要な支援を行っていくべき。

区の子育て支援情報を、児童相談所を通じて里親家庭へ周知しサービス利用を促している。

乳幼児の養護は家庭環境でされるべき。区の認識を問う。

乳幼児期は、人格形成のため大切な時期であり、心身の健全な発達を促すためには、可能な限り家庭的な環境の下で育成することが重要である。



東日本大震災被災地の子どもの支援に特別な配慮が必要。

成長過程にある子どもに対しては、生活の細部に配慮した活動が必要であり、区民が行う支援活動を、区は育て推進すべき。

これまでの取組みに引き続き必要に応じた支援をしていく。

フリースクールは、学校に行けない、学校が合わない子どもにとって必要な、学びや育ちの場である。多様な学びを保障するため、区は支援すべきでは。

不登校児の居場所としての役割を担っており、今後も情報交換など連携を図っていくが財政的な支援などは考えていない。

区職員が天降りしている。天降り・退職管理の適正化について条例化が必要だ。

平成7年に定めた民間企業に再就職する場合の取扱方針により厳格な対応を行っている。

退職手当・天下りの適正化を、「持ち家手当」は廃止を



堀部やすし (無)

人事院の調査によれば、民間における退職金(退職一時金、上乗せ企業年金部分を除く)は、平均約1041万円であった。

一方、杉並区職員定年退職者の退職手当(平均額)はいくらか。

今後5年間に必要とされる退職手当の支給総額(見込)は。

178億8000万円余。

区は現行の退職手当の支給水準を妥当と考えているのか。

均等の原則に基づいて検討し、交渉しながら決めていく。

持ち家手当(自宅居住者への住居手当)を区職員に支給している意義は何か。

首都圏の住宅事情等を考慮して、自宅と借家の区別なく、住居費を補完することにある。

持ち家手当は国も都も廃止。情勢適応の原則、均衡の原則に反しており区も全廃すべきだ。

今後の人事委員会勧告に基づき適切に対応していきたい。



保育園の質、保育園事業について



松浦芳子 (同志)

子供を預ける場所として、理想的な保育園とは。

区内の公立・私立の保育園が相互に連携・協力を図り、子供の状況や地域の実情などに応じた保育の実践が重要。

忙しい保育士の質の向上への取組みは。

毎日の保育の実践を踏まえ、OJTの充実を図り、研修に公立・私立の保育士が参加し知識・技術向上に取り組んでいる。



都の指導監督基準を満たす認可外保育施設を利用する保護者への保育料補助の考え方は。

認可保育所の入所待ちでのベビーホテルの利用には保育料補助を実施しているが、自らの判断で認可保育所の入所を辞退した場合は対象外となる。

認可外保育施設の事業者は、情熱があっても事業は大変である。保育の質が良くても運営補助金がない状況である。認可外保育施設の事業者に対して、必要な運営補助を求める。

待機児解消に向け認可保育所などの保育定員確保を最優先しており、認可外保育施設であるベビーホテルへの運営補助を他区と同様、行う考えはない。

生涯学習の充実と推進、友好都市へ中学生派遣の復活を求む



河津利恵子 (民社)

すぎなみ地域大学や社会教育センターで開催される講座情報の一元化などを検討しては。

社会教育委員の会議の場などでご意見をいただき検討する。

社会教育センターの事業を地域展開していくため、地域区民センターの地域課と連携するなどの仕組みが必要では。行政が行う社会教育の役割、対象、講座のあり方などを検討すべき。

他の分野との関連性を含め、検討を進める。

障害のある子ども達が地域でサポーターに支えられながら就労体験する「ぶれじョブ」について、私の昨年の質問以降、地域資源の発掘や情報収集の取り組み、行政としての関わり方は。

他自治体の実践事例の情報収集、学習会を開催して区内での実践の可能性、関連機関との連携方法など研究している。

国際理解を深めるため、次世代育成基金の活用も含め、国世代的支援を自立生活が軌道に乗るまで継続できる体制を求める。

担当者制を取るなど充実した相談体制で相談者のニーズを汲み上げ、就職後の定着支援相談も同じ担当者で行うなど継続した支援を行う。

徘徊高齢者早期発見体制の構築を！若者就労支援の充実を！



川原口宏之 (公明)

「認知症サポーター」や「地域の助け合いネットワーク」、商店や企業の協力を生かし、徘徊高齢者の早期発見・保護につながる仕組みが構築できるのでは。

区民だけでなく、区内の企業や商店、鉄道・バス事業者などにも広く講習会の受講を呼びかけ、地域で素早く徘徊高齢者を察知し、迅速な保護につなげられる仕組みづくりを進める。

大人になったときに生活保護に頼ることなく自立した生活が送れるよう、生活保護受給世帯の子どもへの支援を強化する必要があります。小・中学生だけでなく、高校生の年代の子どもへの支援も重視すべき。

子どもの状況に応じた支援が体系的に進められるよう、検討している。

若者就労支援コーナー「すぎJOB」の果たす使命は非常に大きい。若者のニーズに合わせた支援を自立生活が軌道に乗るまで継続できる体制を求める。

担当者制を取るなど充実した相談体制で相談者のニーズを汲み上げ、就職後の定着支援相談も同じ担当者で行うなど継続した支援を行う。

関連3法に基づく「地方版子ども・子育て会議」の設置を



横山えみ (公明)

子ども・子育て関連3法に基づき新たな制度で、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援が総合的に推進される。準備に向けて専門組織の設置を検討すべき。

新制度は力量が問われる重要な取組みとなる。所管が一元化されている子ども家庭担当部を中心に着実に進め、その上で本格実施に向け組織を検討する。



新たな制度の円滑な実施のため、本格実施前の準備段階から利用者や事業者などに必要な情報を積極的に提供すべき。

ご指摘のとおり適切に提供。東電グラウンド公園整備も国や都の補助制度を利用しプール、災害時障害者対応、犬を連れた公園利用などを考えるべき。

補助制度を最大限確保する。障害者も利用しやすい公園にし、犬を連れた利用を考えている。

方南町など区内の木造密集地域において、防災まちづくりの意識を高めるため、職員が現地へ出向き働きかけを行う地域密着型の集会を開催すべき。

防災まちづくりを地元と共に進める中で、必要に応じて開催する方向で都と調整する。



理由なき統廃合スト  
ブ！杉八も杉四も高  
中も無くすな！



富田たく  
(共産)

**問** 杉並第四小・杉並第八小・高円寺中の小中一貫校化による統廃合推進の区の姿勢に対し、児童・生徒や保護者、地元住民から反対の声が上がっている。学校希望制度で全学年単学級となり統廃合の理由とされたが、希望制は4年後の廃止が決定し、その後は生徒数が増加するのは明らか。なぜ、学校統廃合を強引に進めるのか。



**問** 学級数が少ないだけで過少校とする適正規模の基準はおかしい。クラス何人が適切なのか議論が無ければ無意味である。その点について区の認識は。

**答** 一学級人数がどこまで少なければ教育効果があるか、実証はないので、現在行っているものが適切と判断している。

**問** 学校統廃合に多くの反対の声がある。新しい学校づくり計画策定準備会では、その声は取り上げられていない。

**答** 準備会の方向性が出された段階で、区教育委員会としての計画の素案を作り、パブリックコメントを行う。

多くの保護者の願いに  
応え、認可保育園増設  
で待機児ゼロへ



山田耕平  
(共産)

**問** 多くの保護者から、認可保育園に子どもを預けたいとの声。しかし、数が不足し、保護者の願いや要望が満たされていない。先の委員会で「保育園が多すぎ」とする他会派議員の質疑に、区は「乾いたぞうきん」にたとえ、絞る重点として福祉を取り上げた。自治体の責任や役割を軽視する大変な問題発言。待機児童の発生にもかわらず、区は保育園が多すぎると考えているのか。今後、財政のダムとして550億円もの積立が行われるも、このような事態が放置されることは許されない。



**答** 待機児童解消の問題は大変深刻な状況にあり、課題はある。実行計画に基づき、認可保育所など多様な保育施設の整備を進める。安定した財政運営確立のため、財政のダムは構築する。

**問** 区内で保育待機児童の深刻な事態が発生。保護者の苦悩、深刻な実態に心を寄せ、早急に改善を図るべき。多くの保護者から若杉小学校跡地に認可保育園を作りたいとの声が広がっている。認可保育園などの増設を進めるべきでは。

**答** 本格活用は今後検討する。

大飯原発の即時停止、  
福祉事務所窓口の監視  
カメラ反対



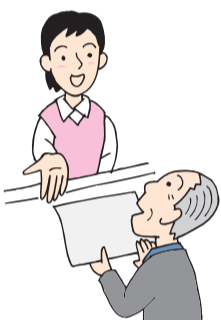
新城せつこ  
(無区)

**問** 原子力規制委の調査から大飯原発立地に対する区の見解を。11月2日の調査で活断層の結論が出ず、関電に追加調査が指示されている。来年7月までに原子炉立地審査指針が全原発に適用され、それを注視する。

**問** 大飯原発は未買収地を残したまま工事再開。原発事故後、新設されることへの区の見解は。

**答** 新設ではなく工事の再開で、国の設置許可ははずす地元の了解で着工。稼働に関しては新たな安全基準が適用され注視する。

**問** 区民事務所のあり方検討会が発足。出張所統廃合などで地域の利便性に格差や偏りがある。



**答** 区民の利便性や費用対効果の視点で、より適正かつ効率的サービスを来年度にかけて検討し、見直し方針を取りまとめる。

**問** 福祉事務所窓口への監視カメラ設置は人権侵害。保護申請に歯止めをかけ、福祉と生活保護の精神に反する。録画映像の取扱いと警察への提供の実績は。

**答** 法・条例に基づき適正に取扱っており、件数にはさまざまな数え方があり詳細は把握していない。

待機児童解消とともに  
入園選考基準と保育料  
負担の見直しを



すぐろ奈緒  
(ネみ)

**問** 待機児童解消に向け積極的な対策を。来年度以降を伺う。

**答** 平成25年4月に向け、当初の計画260名を上回る約320名の定員増を図る。

**問** 認可保育所への入園率を比較すると全体48%に対し、ひとり親家庭は35%と低い。原因は。

**答** ひとり親家庭は短時間就労が多い実態から、就労状況に関する指数が少なくなり、結果として入所選考に外れてしまう。



**問** 入園選考基準について決算特別委員会でも指摘した。ひとり親家庭は収入が低く生活困窮世帯が多いことが調査で明らかだが、多くが入園できていない。一方で、年収1500万円以上の世帯は現在661名入園できている。就労時間で判断されているからでは。収入や経済的困窮度も考慮するよう選考基準の指数や方法を見直すべき。

**答** 26年度の入園選考に向けて全般的な検討を所管に指示した。

**問** 認可と認可外それぞれの保育料の利用者負担について、公平性の観点から是正を求める。

**答** 見直し案をとりまとめた。

孤立若者との接点、母  
子世帯の生活費や養育  
費の受取り支援



奥山たえこ  
(ネみ)

**問** 世代間の貧困の連鎖解消に向け、自治体としての責務は。

**答** 第一義的には国がしっかりと取り組むべき課題だが、基礎自治体としてできることをやっていく。次世代に夢と希望をという視点から検討する。12月に就業支援センターを開設し、これを中核として、若者との接点をもちつつ就業支援を行うよう、組織横断的に取り組む。

**問** 社会的に孤立している若者との接点を持つことは困難。用事がなくてもふらつと行ける、そういう居場所が必要だが。



**答** 福祉事務所の窓口に来る若者について、その傾向は。

**答** この世代の生活保護受給者は10年前と比べて約1.9倍。ネットカフェなどを転々として手持ち金もわずかな方など、来所に至った理由はさまざまである。

**問** 障がい者の「親亡き後の支援」について課題を含め伺う。

**答** 今後もグループホームの整備を進める。他区に先駆け成年後見センターを設置し、普及や利用促進に取り組んでいる。

**問** 日本弁護士連合会から実名公表の勧告を受けて、過去の監査結果を含めどう対応するのか。また、鳥取県などのように予算編成過程の公開をすべき。徹底した情報公開を求める。

増税の前に徹底した行  
政改革、徹底した情報  
公開を求める！



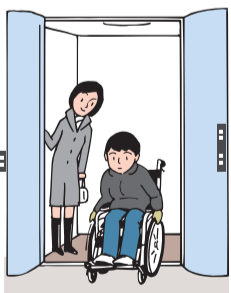
横田政直  
(みん)

**問** 区役所の人件費を2〜3割程度減らすことを目指す、窓口業務の外部委託についての足立区の研究会で具体的テーマでの研究が始まる。積極的な参加を。

**答** 連絡があれば対応する。

**問** 車いすの方が一人でホームまで行けない駅はどこか。駅のバリアフリー化の整備状況は。

**答** 区内19駅中16駅で完了。新高円寺・東高円寺駅はエレベーター設置工事中で、方南町駅は整備の設計を進めている。



**問** 都部の水害対策として調節池の設置が有効とのこと。環七に続き、環八地下の調節池も有効と考えるがいかがか。

**答** 位置や規模は都が流域ごとに検討。今後も都と連携を図る。

**問** 橋梁は防災・減災の観点から万全な計画策定が求められる。また、橋は文化的視点から景観への配慮が重要と考えるが。

**答** 形態や意匠、色彩等、周辺環境との調和を図っていく。

集中豪雨に万全の対策  
を！ 中学校教育の更  
なる充実を！



大槻城一  
(公明)

**問** 都の中小河川の水害による水害対策基準が4年ぶりに見直された。区部では時間50ミリ対応から75ミリ対応へ。当区の水害対策は優先整備指定に。近年、局地的な集中豪雨が増加傾向。早急な対策が必要では。

**答** 当区では平成17年9月4日、2千棟を超える浸水被害で甚大な被害に。様々な対策を打ってきたが、都より一層の連携を図り、都市型災害に備えた安心・安全なまちづくりを進める。



**問** 中学生環境サミットは区役所内だけでなく、他県にある区関連施設での開催も有効では。

**答** 区役所を離れて生徒同士が交流を深めることは、有意義と考える。関係部署と検討する。



**問** 災害時用トイレについて、これまでの区の取組み状況は。  
**答** 各震災救援所にマンホールトイレ、簡易トイレ、ペール缶トイレを備蓄などしている。

**問** 方南や阿佐谷・高円寺地域などに危険度の高い木造密集地域がある。都の不燃化特区でない中、今後の不燃化の推進は。  
**答** 独自の不燃化助成制度を創設し推進している。耐震化・不燃化に積極的に取り組む。

**問** 施設再編整備は様々な考え方があり難問だが、検討状況は。  
**答** 運営の効率化、区民の利便性、地域の活性化という観点からの基本方針と、施設複合化の可能性の視点を整理した。

**問** 新聞配達など日々地域を回る業者と協定を結び高齢者の見守り体制の強化充実を図るべき。  
**答** より強化するため、新聞販売店や町会などの「あんしん協力機関」に対して、実効性ある見守りの検討を進めている。

**問** 充実した部活動の場を提供するため、教育委員会の考えは。  
**答** 将来的には総合型地域スポーツクラブなどを受け皿とした、地域の力を活用した活動への転換を検討していく必要がある。



斉藤常男 (自民)

防災、施設再編整備、高齢者の見守り、新しい学校づくり

## 区議会ホームページをご利用ください

ホームページでは、区議会に関する様々な情報を掲載しています。

- 議会日程  
本会議・委員会の開会予定日時
- 議事内容  
質問項目、議案の審議結果、意見書、請願・陳情の審議結果など
- 区議会のしおり  
区議会の役割、常任・特別委員会の仕事、請願・陳情のあらまし、傍聴案内など
- 議員名簿  
議員紹介、会派別・委員会別の名簿など
- 会議録の検索  
平成15年第1回臨時会（5月）以降の本会議・委員会の会議録など
- 議会中継  
本会議のライブ（生）・録画中継、予算・決算特別委員会の録画中継
- 区議会だより  
平成12年第1回定例会号以降の区議会だより
- キッズコーナー  
区議会の仕事をわかりやすく説明、区議会クイズ



区議会ホームページのトップ画面

ホームページアドレス <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>  
 杉並区役所ホームページからもリンクしています。

## 本会議、予算・決算特別委員会の録画映像をご覧ください

ホームページから、本会議、予算・決算特別委員会の録画映像を配信しています。

会議終了からおおむね24時間後に速報版として、1週間後には内容や質問者ごとに詳細版としてご覧いただけます。

ホームページトップ画面の左メニューの「本会議録画中継」「委員会録画中継」をクリックしてください。



本会議の録画中継の選択画面

## 本会議のライブ（生）中継も実施しています



平成24年第1回臨時会（5月）から開始しました。ホームページトップ画面の左メニューの「本会議ライブ中継」をクリックしてください。



本会議のライブ（生）中継の配信状況確認画面

### 声・点字の区議会だより

本紙を録音した「声の区議会だより」、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。

区内在住の視覚障害1、2級の方と特に希望される方が対象ですので、お知らせの方にお知らせください。

（お申し込みは区議会事務局へ）

### ぜひ、傍聴にお越しください

文字どおりそばで聞くことで、議会活動を知る最も身近な方法です。本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。車いすでの傍聴や手話通訳による傍聴もできます。

ご希望の方は、希望日当日、区役所中棟3階の区議会事務局でお申し込みください。

手話通訳をご希望の方は、希望日の4日前までにお申し出ください。

託児を希望する場合は、傍聴希望日の7日前までにお申し込みください。（おおむね6カ月以上から就学前のお子さんが対象、費用は無料、申込順で各日定員4名）



議会日誌	11月	12月
1日	保健福祉委員会	災害対策特別委員会
8日	議会運営委員会理事會	議会運営委員会
9日	議会運営委員会理事會	道路交通対策特別委員会
14日	議会運営委員会理事會	清掃・エネルギー対策特別委員会
19日	議会運営委員会理事會	議会改革特別委員会
20日	本会議	議会運営委員会
21日	本会議	保健福祉委員会（視察）
22日	本会議	道路交通対策特別委員会（視察）
25日	災害対策特別委員会（視察）	総務財政委員会
26日	区民生活委員会	文教委員会
27日	保健福祉委員会	総務財政委員会
28日	議会運営委員会理事會	
29日	本会議	
30日	本会議	



# 議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 平成24年12月7日議決 (※1は11月22日、※2は11月28日)

件名	概要	自民	公明	民社	共産	ネみ	無区	同志	自ク	みん	無	共生	結果
杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	低炭素建築物新築等計画認定申請手数料等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
杉並区興行場法施行条例の一部を改正する条例	興行場法の一部改正に伴う興行場の構造設備に係る公衆衛生上必要な基準等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区理容師法施行条例	理容師法の一部改正に伴う理容の業を行う場合に講ずべき措置等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
杉並区美容師法施行条例	美容師法の一部改正に伴う美容の業を行う場合に講ずべき措置等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
杉並区旅館業法施行条例	旅館業法の一部改正に伴う宿泊者の衛生に必要な措置の基準等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区公衆浴場法施行条例	公衆浴場法の一部改正に伴う入浴者の衛生及び風紀に必要な措置の基準等の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
杉並区診療所における専属の薬剤師の配置の基準に関する条例	医療法の一部改正に伴う診療所における専属の薬剤師の配置基準の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区クリーニング業法施行条例	クリーニング業法の一部改正に伴う営業者が講ずべき措置の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	廃棄物処理手数料の改定	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
東京二十三区清掃協議会規約の変更について	東京二十三区清掃協議会規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
特別区道の路線の認定について	下記の道路を特別区道として認定 久我山五丁目40～41番、延長41.77m、幅員4.50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	下記の道路を特別区道として認定 久我山五丁目41～42番、延長38.31m、幅員4.50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立永福図書館外1施設の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社ヴィアックス・株式会社シィ・トゥ・シィ共同事業体	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
杉並区立宮前図書館外1施設の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社・株式会社協栄共同事業体	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※1	任期満了に伴う候補者として、横山正（よこやま ただし）氏の推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度杉並区一般会計補正予算(第5号)	区内病院に対する自家発電設備の整備助成や耐震診断助成などの震災・減災対策、障害者グループホームの整備など、新たな事情の発生や緊急性等の観点から9事業の補正のほか、債務負担行為の補正のため、14億7,806万2千円の追加。予算総額1,618億5,737万5千円	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
杉並区 教育委員会委員の任命の同意について ※1	任期満了に伴う候補者として、馬場俊一（ばば しゅんいち）氏の任命に同意	○	○	○	○	△ 賛成4	○	○	○	○	○	○	同意
杉並区 教育委員会委員の任命の同意について ※1	任期満了に伴う候補者として、折井麻美子（おりい まみこ）氏の任命に同意	○	○	○	○	△ 賛成4	○	○	○	○	○	○	同意
杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給料月額額の減額	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給料月額額の減額	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給料月額額の減額	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給料月額額の減額	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した平成24年度杉並区一般会計補正予算(第3号)の報告及び承認について ※1	12月16日の東京都知事選挙の実施に要する1億6,972万7千円を追加する補正予算の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した平成24年度杉並区一般会計補正予算(第4号)の報告及び承認について ※1	12月16日の衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の実施に要する1億7,036万4千円を追加する補正予算の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
杉並区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ※2	区議会議員の期末手当の減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区議会会議規則の一部を改正する規則	地方自治法の一部改正に伴う公聴会及び参考人に係る規定の新設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区議会委員会条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正に伴う所要の規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区議会等の求めにより出頭した者及び公聴会に参加した者の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正に伴う所要の規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	区議会議員の報酬月額額の減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案一覧」でご覧いただけます。

### 《会派名・構成人数》

自民/杉並区議会自由民主党(12人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民社/民主・社民クラブ(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、ネみ/生活者ネット・みどりの未来(5人)、無区/無所属区民派(2人)、同志/杉並同志会(2人)、自ク/自民と区政クラブ(2人)、みん/みんなの党杉並(1人)、無/無所属(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)

**編集後記**

▽あけましておめでとうございませう。皆様にとりまして、よい年でありますようにお祈り申し上げます。

▽区議会だより第216号をお届けします。

▽今回は、第4回定例会の模様と新年のごあいさつを掲載しました。

▽次の定例会は、平成25年度の予算審査を中心として2月14日から開かれる予定です。

▽今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局までお寄せください。

**お知らせ**

◇会派名称変更(11月12日付)  
「革新」から「杉並同志会」へ名称変更

**II 請願 II**

【趣旨採択】

◇伝統医学による施術に対して支援を求めることに関する請願(24請願第2号)

**臨界前核実験に抗議し、要請書を提出**

杉並区議会は、アメリカ合衆国が12月5日に実施した臨界前核実験の強行に抗議し、今後一切の核実験の停止を求める要請書を12月7日付で米国外務省を通じて、アメリカ合衆国大統領へ提出しました。